

龍谷大学 SOGIE/LGBTQ+ キャンパスライフガイド

SOGIE/LGBTQ+ 校園生活指南
龍谷大學

第2版 / 中文(繁体字)



龍谷大学 Ryukoku University

性的指向・性自認等に関する龍谷大学の対応について

LGBTQ という言葉を耳にしたことのある人は多いでしょう。知識として理解している人も増えてきています。では、たとえばふだんの生活のなかで、その言葉をどれほど身近なこととして意識し、具体的に行動しているのでしょうか。“知っている言葉”のひとつに留まっているということはないのでしょうか。

差別は多くの場合、正しいことを伝えようとするところから生じると言います。私自身、気づかないままに自分の正義を振りかざして人に押しつけ、その結果、だれかを傷つけたり否定したり排除したりしてきたかもしれません。だからこそ、深い自省とともに、みなさんにお伝えしたいのです。たんに言葉として覚えるだけでなく、知識として蓄えるだけでなく、言葉にこめられた切実な内容を“わがこと”として解きほぐし、編み直し、血肉化することが大事なのです。それによって、柔軟な思考を育み、「まごころ」ある行動を起こせる人間になることが望まれているのです。

いま、同性パートナーシップ制度が広がり、あるいは「同性婚を認めない現行制度は憲法違反」という高裁判決が連続と出されるなど、LGBTQ などの性的少数者をめぐる環境は大きく変化しつつあります。しかし、その一方でマイノリティを否定し排除しようとする言説が拡大し、それによって苦しみや生きづらさに直面している人たちがいるという厳然たる事実も、私たちはけっして見逃してはなりません。LGBTQ は、政治の道具でもなければ、経済活性化の手段でもありません。人権の問題、「いのち」の尊厳の問題なのです。

龍谷大学は、これまでも建学の精神に根ざして性的指向や性自認、性表現などを理由とした差別や偏見を克服し、だれもが自分らしく安心して過ごすことのできるキャンパスをめざした取り組みを進めてきました。私たちは、これからも学びを進め、ほぐし、視野を広げ、まなざしを深めつつ、「自省利他」の行動哲学に基づいて主体的に実践する大学でありつづけます。

2025年4月1日

龍谷大学 学長 安藤 徹

關於龍谷大學在性傾向・性別認同等方面的因應

許多人或許都聽過「LGBTQ」這個詞語，理解相關知識的人也逐漸多了起來。但在日常生活中，我們究竟在多大程度上把這些詞彙當作與自身密切相關的事情來意識並付諸行動呢？是否只是把它當作「知道的詞語」之一而已？

有人說，歧視往往在「試圖告訴對方什麼才是正確的」過程中產生。我自己也可能在不自覺間，把自己的正義強加於他人，使人受到傷害、否定或排除。因此，我希望帶著深刻的自我反省，把這件事傳達給大家。重要的不是僅僅記住詞語，也不是只把它當知識儲存，而是要將詞語中所蘊含的切身內容「當成自己的事」，仔細梳理、重新編織、內化為自身的一部分。透過這樣的過程，我們才能培養柔軟的思考，成為能夠以「真誠」行動的人。

目前，同性伴侶制度逐漸擴大，且高等法院亦陸續判決「不承認同性婚姻的現行制度違憲」等，使關於 LGBTQ 等性少數者的社會環境正快速變化。然而，另一方面，試圖否定或排除少數群體的言論也在擴張，因而有些人面臨痛苦與生存困難的嚴峻現實。我們絕不能忽視這一點。LGBTQ 不是政治工具，也不是促進經濟活性的手段，而是關乎人權、關乎「生命尊嚴」的問題。

龍谷大學至今以建學精神為基礎，致力於克服因性傾向、性別認同、性別表現等所引發的偏見與歧視，打造一個任何人都能安心、做自己地生活的校園。我們未來也將持續推動學習、反思、拓展視野、深化觀察，以「自省利他」的行動哲學為基礎，自主地實踐這些理念。

2025 年 4 月 1 日

龍谷大學 校長 安藤 徹

性のあり方の多様性に関する基本指針

性的指向や性自認など、性のあり方は多様であり、これらに関する差別や偏見を解消し誰もが自分らしく安心して過ごすことができる大学や社会を目指すことは、すべての本学構成員が取り組むべき課題です。

龍谷大学は、「人権に関する基本方針」のもと、本学構成員の一人ひとりが、性的指向および性自認などに関する悩みや生きづらさを抱える人がいることを常に理解し、合理的な配慮を可能な限り提供するため、次のとおり基本指針を策定します。

教育、学修、研究、就業等の環境において、性のあり方に関する偏見や差別が生じることがないように不断の学習と啓発に努めます。

具体的な対応にあたっては、悩みや生きづらさを抱える本人の意思を尊重して合意形成を目指します。

トイレや更衣室等の利用にあたり、戸籍上の性別等にかかわらず性自認にしたがって自らが選択できるよう、環境整備と理解の醸成を図ります。

性のあり方に関する個人情報の保護を徹底します。

2017年12月策定

人権に関する基本方針

<https://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/committee/policy.html>



性的指向・性自認(SOGI)等に関する龍谷大学の対応について

https://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/committee/sexual_minority.html



性之多樣性相關基本方針

性傾向與性別認同等，性之在表現上的方式具有多樣性。為了解除相關的歧視與偏見，並打造一個讓所有人都能以自身的方式安心生活的大學與社會，這是所有本校成員都應共同面對的課題。

龍谷大學基於「人權相關基本方針」，制定以下基本指針，使所有校內成員都能時刻理解：有人因性傾向或性別認同等而面臨困擾或生活上的困難。為了在可能的範圍內提供合理的協助，我們提出以下原則：

- 在教育、學習、研究、就業等環境中，致力於不斷學習與啟發，使性之多樣性相關的偏見與歧視不再發生。
- 在進行具體對應時，尊重當事人本人的意願，並以形成雙方共識為目標。
- 在使用廁所、更衣室等空間時，不論戶籍上的性別為何，將致力於環境整備與促進理解，使每個人都能依自身性別認同自由選擇使用。
- 徹底保護與性之多樣性相關的個人資訊。

2017年12月制定

LGBTQ+、SOGI(SOGIE)について

LGBTQ+

LGBTQ+は、レズビアン（女性を好きになる女性）、ゲイ（男性を好きになる男性）、バイセクシュアル（男性も女性も好きになる人）、トランスジェンダー（出生時とは異なる性別を自認している人）、クィア（性的少数者を包括する言葉）あるいはクエスチョニング（性のあり方が定まっていない人）の頭文字に、これらの言葉に含まれない多様な性のあり方を加えたもので、性的マイノリティをあらわす総称の一つです。L G Bは誰を好きになるか（性的指向）、Tは自分の性別をどう認識しているか（性自認、性同一性）を軸にした概念です。

SOGI (SOGIE)

SOGI(ソジ、ソギ)は、性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)の略称で、性の多様性をあらわします。性表現 (Gender Expression) を加えてSOGIE や、性的特徴 (Sexual Characteristics) を加えてSOGIESCともいいます。LGBTQ+が性的マイノリティをあらわすのに対し、SOGIはすべての人が持っている性のあり方です。性的なマイノリティやマジョリティといった区別ではなく、「その人自身」が大切な存在だということです。

カミングアウト・アウティング

カミングアウトとは LGBTQ+の当事者が自らの性的指向や性自認を相手に打ち明ける行為のことで、当事者にとっては非常に勇気のいることです。信頼したあなただけにカミングアウトしているのかもしれませんが、それを他の人に勝手に言いふらしてはいけません。本人の了承なしに第三者に言いふらすことをアウティングと言います。これは当事者の尊厳を著しく傷つける行為であり、絶対にしないでください。

参考書籍

- ・「マンガでわかる LGBTQ+」 パレットーク 著、ケイカ 漫画（講談社）
- ・「多様な性を生きる」 松岡宗嗣 著（河出書房新社）
- ・「性の多様性から読みとく社会」 釜野さおり・杉浦郁子 編著（勁草書房）

關於 LGBTQ+、SOGI (SOGIE)

LGBTQ+

LGBTQ+ 是女同志（喜歡女性的女性）、男同志（喜歡男性的男性）、雙性戀（喜歡男性與女性的人）、跨性別者（性別認同與出生時的性別不同的人）、酷兒（涵蓋性少數者的用語）或疑性者（性之在表現上尚未確定的人）等詞語的英文首字母組合而成，外加未包含在這些分類中的多樣性別形式，是性少數者的一種總稱。L、G、B 主要指「喜歡誰（性傾向）」，而 T 則是以「如何認識自身的性別（性別認同、性別一致性）」為概念核心。

SOGI (SOGIE)

SOGI（讀作索吉 / 索基）是性傾向（Sexual Orientation）與性別認同（Gender Identity）的縮寫，用以表示性之多樣性。若再加入性別表現（Gender Expression），則稱為 SOGIE；再加入性特徵（Sexual Characteristics），則稱為 SOGIESC。與 LGBTQ+ 主要指向「性少數者」相比，SOGI 則是所有人都具有的性之要素。不以性少數與多數作為區分，而是強調「每個人本身」都是值得尊重的存在。

出櫃・強制出櫃

出櫃是指 LGBTQ+ 當事者向他人主動坦白自身的性傾向或性別認同，對當事者來說是非常需要勇氣的行為。有可能是只對信任的你一個人出櫃，因此絕對不能擅自向其他人傳播這些資訊。未經本人同意向第三者透露其性傾向或性別認同的行為稱為「強制出櫃（outing）」。這會嚴重傷害當事者的人格尊嚴，請務必避免。

誰にとっても過ごしやすいキャンパスのために

すべての皆さんへ

性的マイノリティはカミングアウトしていないと見えにくい存在であるため、どうしてもメディアがつくったステレオタイプのイメージを抱かれやすく、しばしば当事者が置き去りにされてしまうことがあります。しかし、クラスや身近なところにカミングアウトしていない当事者がいるかもしれません。当事者はたとえ自分について言われていないのだとしても、性的マイノリティを笑いのネタにされたり、悪口を言われたりすると、当然ながら傷ついてしまいます。同じキャンパスで誰もが心地よく過ごすためにも、自分が言われたり、されたりして嫌なことは他の人にもしないことが大切です。

■ 偏見や差別に気づく

人は誰も偏見を抱く可能性があります。誰かを傷つける発言をしてしまったと気づいたら、自分の考えや発言を謙虚に見つめ直し、勇気をもって改めることが大切です。

■ カミングアウトを受けたら

カミングアウトに対する考え方は人それぞれです。カミングアウトしたい人もしたくない人もいます。また、カミングアウトの目的も人それぞれです。カミングアウトに対する返答には唯一の正解があるわけではありませんが、その時のありのままの気持ちを尊重し、結論を急がないことが大切です。

教職員・スタッフの皆さんへ

■ 教室や学生支援などでの配慮について

教室などでのジェンダーによる偏見をなくす例として、次のようなことが挙げられます。

- ・見た目性別を決めつけない。
- ・「くん」「さん」で呼び分けるのではなく、全員を「さん」付けて呼ぶ。
- ・グループ活動をする際に、女性と男性に分けない。
- ・「女性だから」「男性だから」といった「型」にとらわれず、それぞれの個性を尊重する。
- ・学生が、性的マイノリティを傷つける発言をした場合は、放置せずその場で対応する。
- ・ゼミや実習の合宿では、個室などを選択できるよう、全員に対して周知する。

為了讓所有人都能舒適度過的校園

致所有同學

由於性少數者若未出櫃就不易被看見，因此容易讓人帶著媒體塑造的刻板印象，而當事者的視角也常因此被忽略。然而，在班級或身邊周遭，可能就有尚未出櫃的性少數者。就算不是針對他們本人，若有人把性少數當成笑話的材料，或說些貶低的話語，當事者也會因此受傷。為了讓同一個校園中的每個人都能自在地生活，「自己不想被說、不想被對待的方式，也不要對他人做」是非常重要的。

■ 意識到偏見與歧視

每個人都有可能抱有偏見。若發現自己說了可能傷害他人的話，就需要謙虛地檢視自己的想法與行為，並勇於改正。

■ 若有人向你出櫃

對出櫃的看法因人而異，也有人想出櫃、有人不想出櫃；出櫃的目的也各不相同。對此並不存在唯一正確的回應方式，但重要的是尊重對方當下的心情，不要急著下結論。

致教職員與校內職員

■ 關於教室內或學生支援上的配慮

為了消除教室內基於性別的偏見，可採取以下方式：

- 不要以外表推測他人的性別
- 不要以「君」「さん」（先生、小姐）做性別上的區別，而是以一致的稱呼（如「さん」）稱呼所有人
- 分組活動時，不以男性・女性作為分組方式
- 不要以「因為你是女性」「因為你是男性」的「性別框架」來看待他人，而是尊重每個人的個性
- 若學生有傷害性少數者的言論，不要放置不管，要當場處理
- 在舉辦研討或實習的宿營時，向所有人告知可以選擇個室等選項

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン基礎講座

龍谷大学は DEI：ダイバーシティ（多様性）・エクイティ（公平性）・インクルージョン（包摂性）を推進しています。その一環として「教養教育科目特別講義ーダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン基礎講座（名称は予定）」を開設します。SOGI やジェンダーだけでなく、さまざまなテーマについて学ぶことができます。また 4 月に梅小路公園で開催される京都レインボープライドへの参加を予定しています。学部生であれば、学年や学部、キャンパスを問わず受講できます。具体的な内容などは、必ずシラバスで確認してください。

開講年度	2026 年度（2027 年度以降は未定）
科目名	教養教育科目特別講義
副 題	「ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン基礎講座」
主な内容	龍谷大学の取り組み／DEI の基礎／ジェンダー／障がい者 性の多様性／マイクロアグレッション／マイノリティ／多文化共生
対象学部	全学部
配当年次	1～4 年次
開講期曜講時	前期 火曜日 5 講時
単 位	2 単位
場 所	深草（対面とオンラインのハイブリッド）
言 語	日本語
担当者	チェーンレクチャー（複数の講師による講義）

多元、平等、共融（DEI）基礎課程

龍谷大學正推動 DEI：多元（Diversity）、平等（Equity）、共融（Inclusion）。作為其中一環，本校開設了「通識教育科目特別講義—多元・平等・共融基礎課程（名稱暫定）」。課程內容不僅探討 SOGI 與性別議題，也將學習各式多元相關主題。此外，也預計參加四月在梅小路公園舉辦的京都彩虹遊行（Kyoto Rainbow Pride）。本課程開放給所有學部學生，不論年級、學部或校區。課程內容請務必查閱教務系統中的課程大綱（syllabus）確認。

開設年度：2026 年度（2027 年度以後未定）

科目名稱：通識教育科目特別講義

副標題：「多元・平等・共融基礎課程」

主要內容：

- ・ 龍谷大學的相關取組
- ・ DEI 的基礎概念
- ・ 性別
- ・ 身心障礙
- ・ 性之多樣性
- ・ 微歧視（Microaggression）
- ・ 少數者
- ・ 多文化共生

對象學部：全學部

配當年級：一年級至四年級

開課時段：前期 星期二 第五節

學分：2 學分

地點：深草校區（實體與線上混成形式）

授課語言：日語

授課方式：Chain Lecture（由多位講師共同授課）

ジェンダー・セクシュアリティ相談(GS相談)

大学生活で、性的指向や性自認など、性に関する悩みや困っていることについて相談できる「ジェンダー・セクシュアリティ相談(GS相談)」を開設しています。GS相談は原則として予約制です。相談の日程や場所を調整の上、相談員(教職員)が相談に応じます。本学の学生と教職員が対象で、自分自身のことだけでなく、困っている友人のことや、相談を受けた場合の対応方法などについてもお気軽にご相談ください。

相談を希望される方は、宗教部(深草キャンパス顕真館)に来室するか、syukyobu@ad.ryukoku.ac.jpに連絡して予約してください。個別の事情等によって希望に沿えない場合もありますが、より良い答えを導き出せるよう一緒に考えましょう。

なお、その他の相談窓口として、学生部内に「なんでも相談室」がありますので、ご利用ください。

ハラスメント相談

性的指向や性自認などを嘲笑したり、本人の同意なく個人情報や他人にばらしたりすることはセクシュアル・ハラスメントとなることがあります。嫌な思いや不快な思いをした場合、ひとりて悩んでいても解決しません。すぐに周囲の信頼できる人がハラスメント相談員に相談してください。詳細はポータルサイトで確認してください。

ジェンダー・セクシュアリティ相談(GS)

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-12778.html>



ハラスメント相談

https://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/consult/sh.html



性別與性傾向諮詢 (GS 諮詢)

在大學生活中，若對性傾向、性別認同等與性相關的困擾或問題需要諮詢，本校設有「性別・性傾向諮詢 (GS 諮詢)」。GS 諮詢原則上採預約制。將會依照希望的日期與地點進行調整，由諮詢員（教職員）提供協助。

諮詢對象為本校學生與教職員。不僅是關於自己，也可以就「身邊的朋友遇到困難」或「接到相關相談時應如何回應」等問題輕鬆諮詢。

若希望進行諮詢，請親自前往宗教部（深草校區 顯真館）或寄信至 syukyobu@ad.ryukoku.ac.jp 進行預約。

根據個別情況，可能無法完全符合您的希望，但我們會共同思考並尋找更好的解決方式。

此外，學生部內也設有「萬事諮詢室」，歡迎使用。

騷擾 (Harassment) 諮詢

嘲笑性傾向或性別認同、未經本人同意洩露個人資訊等行為，可能構成性騷擾。若感到不適或受到困擾，即使一個人苦惱也難以解決。請立即尋求身邊可信賴的人，或向騷擾諮詢員求助。詳細內容請查看校內入口網站 (Portal Site)。

SOGI カフェ

ジェンダーやセクシュアリティなどについて気軽に語り合う「SOGI カフェ」（そじかふえ）を半期に一回程度開催しています。SOGI カフェでは、個人情報などに関するグランドルールを設けています。参加者のジェンダーアイデンティティやセクシュアリティは問いません。趣旨に賛同してくださる方はどなたでもご参加いただけます。黙って聞いているだけでもOK。途中参加や途中退室も可、お申し込み不要です。開催日時や場所はポータルサイトなどでお知らせします。

性別の表記について

龍谷大学が発行する証明書ならびに申請書類等には原則として性別の記載はありません。また、各授業における受講者名簿にも性別の記載はありません。

性別違和により、戸籍等と異なる性別の登録を希望する場合は、個別に対応しますので、Campus HUB（瀬田キャンパスおよび短期大学部の学生は教務課）にご相談ください。

健康診断について

龍谷大学では、学校保健安全法に定められた学生健康診断を毎年4月に実施しています。健康診断は、学部（学年）・男女別に行われます。その際、胸部レントゲン写真撮影がありますが、撮影時の更衣スペースは、個人ごとに分かれています。

健康診断の際に配慮が必要な方は、事前に所属学部があるキャンパスの保健管理センターまでご相談ください。教職員の健康診断も同様にご相談ください。

SOGI カフェ

<https://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/committee/sogicafe.html>



SOGI 咖啡館 (SOGI Café)

本校每學期大約會舉辦一次「SOGI 咖啡館」，讓大家能輕鬆地交流、討論與性別、性傾向等相關的議題。SOGI 咖啡館設有關於個人資訊的基本規範(Ground Rules)。參加者的性別認同與性傾向不受限制，只要認同活動宗旨，任何人皆可自由參加。只聽不說也可以，中途參加或提前離開亦可，無需事前報名。舉辦日期與地點將於校內入口網站等處公告。

關於性別標記

龍谷大學所發行的證明文件與申請書原則上不記載性別。各授課課程的修課名單上也沒有性別欄位。

因性別不一致等原因，希望以與戶籍性別不同的性別進行校內登記者，可依個別情況進行因應，請洽 Campus HUB（瀨田校區與短期大學部學生請洽教務課）。

健康檢查相關

本校依據《學校保健安全法》，每年四月會實施學生健康檢查。健康檢查通常依學部（學年）與男女分開進行。檢查時會進行胸部 X 光攝影，而更衣空間並非個別隔間。

若您在健康檢查時需要配慮，請事前洽詢所屬學部校區的保健管理中心。教職員的健康檢查亦可同樣洽詢。

性別違和による学生の通称名の使用について

通称名等の使用を希望する学生は、学部長、研究科長又は別科長に申し出ることにより、通称名等を使用することができます。詳細は、Campus HUB（瀬田キャンパスおよび短期大学の学生は教務課）までお問い合わせください（受験生は入試部）。

【通称名等の使用の手続き】

- ・通称名を使用する場合は、所定の「通称名等使用申出書」を提出してください。通称名等の使用にあたって必要なサポート等を確認するため、面談を行うことがあります。
- ・法令等の定めにより本名を使用する必要がある文書等については、通称名等を使用できません。
- ・本人の申し出により、通称名等の使用を中止することができます。
- ・本人からの求めにより、通称名等の使用を認めている旨の文書を交付します。
- ・通称名等使用申出書には保証人の署名欄がありますが、保証人の署名が困難な場合は、理由書を提出し面談を受けてください。

学生の通称名等使用の取扱いに関する要項

<https://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/images/committee/tsushomei.pdf>



因性別不一致所導致的學生通稱名使用相關規定

希望使用通稱名的學生，可向學部長、研究科長或別科長提出申請，即可使用通稱名。
詳細請洽 Campus HUB（瀨田校區及短期大學部的學生請洽教務課）。

（考生請洽招生部）

【通稱名使用手續】

- 若要使用通稱名，請提交指定的「通稱名使用申請書」。為確認使用通稱名時所需的支援，可能會安排面談。
- 依法令規定必須使用本名的文件等，無法使用通稱名。
- 可由本人提出申請，隨時停止使用通稱名。
- 可依本人需求，開立證明文件，證明已被允許使用通稱名。
- 通稱名使用申請書上有保證人簽名欄位，若保證人因故難以簽名，請提交理由書並接受面談。

履歴書の性別欄について

本学学生が使用する指定履歴書に性別欄はありません。なお、本学の教職員採用にかかる一部の履歴書には性別欄がありますが、記入は必須ではありません。未記入の場合も、選考において不利益となることはありません。

卒業、修了後に交付する証明書等の記載氏名について

■在学時に通称名等を使用していた場合

証明書は原則、本学在籍時に使用していた氏名で発行いたします。

■改姓・改名された場合

卒業・修了、退学または除籍後に改姓・改名された場合は、改姓・改名が確認できる書類（戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）／発行から6ヵ月以内・コピー可）等※）の画像を添付し、申請をおこなってください。

※ 在籍時の氏名と、現在の氏名が両方記載された住民票や運転免許証の裏書といった公的機関の証明書。

- ・改姓・改名後の氏名で証明書発行を希望される場合は、申請者情報登録の「改姓・改名後の氏名で証明書発行を希望される場合」欄に、改姓・改名後の氏名、読み仮名（カタカナ）および「改姓・改名後の氏名で証明書発行を希望」と入力して申請してください。
- ・24時間オンラインで申請可能です（卒業生は、初回利用時に本サービスのユーザー登録が必要です）。なお、「証明書を発行」での選択は、「郵送・大学窓口受取」を選択してください（コンビニでの発行はできません）。

各種証明書発行について

https://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/activity_support/application/issuance.html



履歷表上的性別欄位

本校學生所使用的指定履歷表中沒有性別欄位。

此外，本校部分教職員招聘所使用的履歷表雖包含性別欄，但並非必填。即使未填寫，也不會在甄選中造成不利。

畢業、修了後之證明文件的姓名記載

■ 在學期間使用通稱名者

證明文件原則上將以在學期間所使用的姓名發行。

■ 已改姓・改名者

畢業、修了、退學或除籍後若有改姓・改名，請附上可確認改姓・改名的相關文件影本（如：戶籍個人事項證明書〔戶籍抄本〕，六個月內發行，可用影本）。

※ 若為可確認在學時姓名與現行姓名的公文書，如寫有雙方姓名的住民票、駕照背面的變更記載等，也可作為證明。

・若希望以改姓・改名後的姓名發行證明文件，請在申請者資料欄中的「希望以改姓・改名後的姓名發行」部分填寫新的姓名、片假名讀音，並註明「希望以改姓・改名後的姓名發行」。

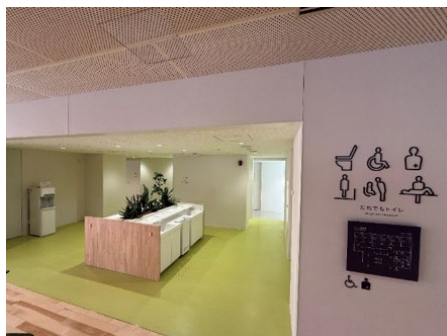
・24 小時可線上申請（畢業生首次使用需進行使用者註冊）。

・申請「證明書發行」時，請選擇「郵寄或校內窗口領取」。便利商店無法受理相關發行。

だれでもトイレについて

誰もが気兼ねなく、安心して自らが必要とするトイレを選択して利用することができるよう、男女別トイレに加えて「だれでもトイレ」を整備しています。

「だれでもトイレ」には、それぞれ入り口の扉にどんな機能を備えているかを表示しています。性別や障がいの有無などにかかわらず、広めのスペースや静かな環境を必要とする方、その他どなたでもご利用いただけます。(92か所、107ブース)



だれでもトイレについて

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-6420.html>



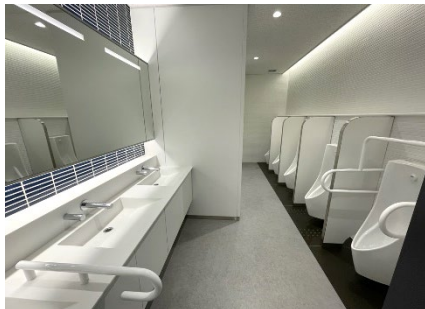
關於「無障礙／共用廁所」

為了讓所有人都能不受拘束、安心地選擇並使用自己所需的廁所，除了男女分隔廁所之外，本校也設置了「無障礙／共用廁所」。

在「無障礙／共用廁所」的入口門上，都標示了其具備的功能。不論性別、是否有障礙、是否需要較大空間或安靜環境，任何人都可以使用。（校內共有 92 個地點、107 間廁所）

男性用トイレ小便器

男性用トイレの小便器は、新設や改修にあわせ、隣の人との目隠しとして、ブース間に大きめの衝立を設置しています。



だれでもトイレ設置の経緯

龍谷大学は、2018年から、性別にかかわらず利用できる多機能トイレの名称を「だれでもトイレ」とし、多様なトイレニーズに対応してきました。

2021年には、学生グループから「ダイバーシティを実現するためのトイレに関する提言書」が学長に提出されたことをきっかけとして、「みんなのキャンパストイレフォーラム」を開催し、車いすユーザーやトランスジェンダーの卒業生、トイレメーカーの方、先行的に取り組んでおられる大学の職員らと交えて意見交換をおこない、その中で「多機能トイレが足りない」、「洋式化が遅れているトイレがある」、「女性のトイレブースが少ない」といった課題が明らかとなり、「だれでもトイレ」を含む多様なトイレを設置して選択肢を増やし、機能を分散化することが提起されました。

深草キャンパスの施設整備では、これらの取り組みの具現化の一つとして、あらたに建設したすべての建物に「だれでもトイレ」を設置しました。これらは、学生と教職員が「トイレは大学の縮図である」を合言葉に、配置やピクトグラムの検討を重ねて実現したものです。

男性用小便斗

在男性廁所中，小便斗會在新設或改修時，同步加裝大型隔板，以避免彼此的視線接觸。

誰都能用的廁所設置背景

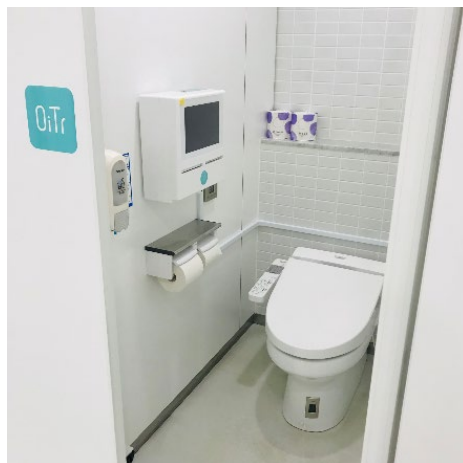
自 2018 年起，龍谷大學將可供任何性別使用之多功能廁所稱為「誰都能用的廁所」，以回應多樣化的使用需求。

2021 年，學生團體向校長提交了有關實現多元共融廁所的建議書，並舉辦「我們的校園廁所論壇」，邀請輪椅使用者、跨性別校友、廁所製造商與其他大學職員等共襄討論。論壇中提出多項課題，如多功能廁所數量不足、和式未改洋式、女性隔間數量偏少等，並建議增加多樣化廁所選項、分散功能配置。

在此次深草校區的新設建築中，所有新設施皆設置「誰都能用的廁所」，為上述努力的具體成果。此為學生與教職員本著「廁所即校園縮影」的理念，經過多次配置與圖示討論所實現。

生理用ナプキン無料提供ディスペンサー(Oitr)

生理用ナプキンを無料で提供するサービス「Oitr」(オイテル)を導入し、女性トイレの一部や「だれでもトイレ」を含む個室トイレに設置しています。



だれでもシャワー

男女別のシャワー室に加えて、性別などに関わらず利用できる「だれでもシャワー室」を深草キャンパス聞思館および朋友館に設置しています。



生理用ナプキンの無料化を実現するサービス「Oitr (オイテル)」

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-9221.html>



Oitr (オイテル) 設置 map

<https://ysbrc.ryukoku.ac.jp/wg/map.html>



生理用品免費提供（Oitr）

本校導入了「Oitr（オイテル）」服務，可免費提供生理用衛生棉。此設備設置於部分女性廁所及包含「無障礙／共用廁所」在內的個室廁所中。

無障礙淋浴間

除了男女分隔的淋浴室之外，深草校區的聞思館與朋友館也設置了任何人都可使用的「無障礙淋浴室」。

ファミリールーム

深草キャンパス「聞思館（もんしかん）」2階に、授乳やおむつ替えなどができるファミリールームを設置しました。

おむつ替え台のほか、飲用可能な冷水や熱湯が出るウォータースタンドを設置しています。

場所 深草キャンパス「聞思館」2階

- 設備
- ・おむつ交換台
 - ・ベビーチェア
 - ・イス
 - ・手洗い器
 - ・ウォータースタンド（温水・冷水）
 - ・ハンドドライヤー
 - ・おむつ用ダストボックス



家庭休息室 (Family Room)

深草校區「聞思館」2 樓設置了可供哺乳、換尿布等的家庭休息室。
備有尿布更換台、可飲用的冷熱飲水機等設備。

地點：深草校區「聞思館」2 樓

設備：

- 尿布更換台
- 嬰兒座椅
- 椅子
- 洗手台
- 飲水機 (冷水、熱水)
- 烘手機
- 尿布專用垃圾桶

学生活動支援

東京プライド（東京）、レインボーフェスタ！（大阪）、京都レインボープライド（京都）などのイベントに学生と教職員が協力して出展するほか、学生の活動に対するサポートや経費の支援をおこなっています。詳しくは宗教部までお問い合わせください。



東京プライドの龍谷大学ブース。龍谷大学ならではのワークショップやアンケートを実施、たくさんの人が来場されました。

京都レインボープライドでは、吹奏楽部が、ステージとパレードでパフォーマンスを披露しました。



学生有志「にじLOVE」作成のアライグッズ（大学助成）

※アライ（ALLY）

多様な性のあり方に理解があり、当事者を支援・応援する人



東京レインボープライド 2025 Tokyo Rainbow Pride 2025

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-16701.html>



學生活動支援

本校會在東京彩虹驕傲（Tokyo Pride）、大阪的 Rainbow Festa！、京都彩虹驕傲（Kyoto Rainbow Pride）等活動中，由學生與教職員合作設攤。此外，也會對學生的相關活動提供支援與部分經費補助。詳細請洽宗教部。

学外の相談窓口・団体

Off-Campus Consultation Services and Organizations

■プライドセンター大阪 Pride Center Osaka

大阪の天満橋にある常設のLGBTQ センター。LGBTQ だけでなく、その周囲の人、LGBTQ に関して学びたい人など、誰でも利用できます。

位於大阪天満橋の常設LGBTQ 中心。不僅是LGBTQ 人士，其周圍的人、想要學習關於LGBTQ 的人等，任何人都可以使用。

<https://pridecenter.jp/>

■にじーず Nijiizu

10代から23歳までのLGBT(かもしれない人を含む)が集まれるオープンデーを開催(参加費は無料)。関西では京都、大阪、神戸のほかソバーチャルでも開催されています。

にじーず Nijiizu

舉辦歲10 歲到23 歲的LGBT (包括可能是LGBT 的人) 可以聚集的開放日活動(參加費免費)。在關西地區，除了京都、大阪、神戸之外，也會以虛擬方式舉辦。

<https://24zzz-lgbt.com/>

■にじいろ Biwako Nijiiri Biwako

近江八幡市にある滋賀県男女情動参画センター「G-NET 滋賀」で、LGBTQ やその周囲の人たちが気軽に安心して参加できる居場所「にじびわべーす」を開催しています。在近江八幡市の滋賀県男女情感参画中心「G-NET 滋賀」，我們舉辦了讓LGBTQ 及其周圍的人可以輕鬆安心參加的據點「虹琵琶基地」。

<https://nijibiwa.com/>

のんでCHANGE！自動販売機

チェリオコーポレーションの参加型自動販売機「のんでCHANGE！」は、自動販売機の売り上げの一部が、性的少数者など誰もが安心して過ごすことができる社会を目指すレインボーイベントの応援にあてられます。LGBTQ+の象徴であるレインボーカラーに装飾された自動販売機は、多様性について「知るきっかけ」を提供します。また、購入を通じて誰もが気軽にレインボーイベントに応援参加できます。

チェリオコーポレーションは、一人ひとりが個性を最大限に発揮できる社会の実現を目指して、東京プライドをはじめ全国のプライドイベントの開催をサポートし、多くの社員が参加して多様性の価値観の拡大に努める取り組みを推進されています。龍谷大学は、2025年10月に同社の菅大介さんを招いてシンポジウムを開催したことをきっかけとして、「のんでCHANGE！」自動販売機を設置しました。

設置場所 深草キャンパス ウッドデッキ
(付属平安中学・平安高校にも設置済み)



喝了就改變！

「喝了就改變！」是由 CHEERIO 集團推出、具有社會參與功能的自動販賣機。其部分銷售額會用於支持致力於讓性少數者及所有人都能安心生活的彩虹活動。這些以彩虹旗（LGBTQ+ 的象徵）裝飾的販賣機，能提供大家認識多樣性的契機，並能透過購買飲料輕鬆參與對彩虹活動的支持。

CHEERIO 集團以實現每個人都能發揮個性與能力的社會為目標，長期支援東京彩虹驕傲等全國各地的 Pride 活動，並積極推動員工參與，促進多元價值觀的擴大。龍谷大學自 2025 年 10 月舉辦以該公司菅大介先生為講者的座談會後，開始設置「のんで CHANGE！」自動販賣機。

設置地點：深草校區 木平台區（附屬平安中學、平安高校亦設置）

大学生のためのLGBTQ+ライフブック

大学生のためのLGBTQ+ライフブック（無料配付冊子）。この冊子は、性的マイノリティの学生に就職やその先のライフプランのためのヒントにしてほしい、先輩一人ひとりのそんな思いから生まれました。大学生だけでなく、学生をサポートする教職員、家族、応援して下さるすべての人に読んでいただきたいと思います。

各学舎に設置しており自由にお持ち帰りいただけます。複数必要な方は宗教部までご連絡ください。

Vol.2以降はPDF版も公開しています。

Vol.1 『先輩たちのライフストーリーズ』（2017.7 発行）

Vol.2 『それぞれの結婚のカタチ（Marriage for All People）』（2019.3 発行）

Vol.3 『みんなのキモチ』（2019.10 発行）

Vol.4 『お坊さんたちのライフストーリーズ』（2024.3 発行）



大学生のためのLGBTQ+ライフブック

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-14440.html>



大學生 LGBTQ+ 生活手冊 (LGBTQ+ Life Book)

這是一本免費索取的小冊子，名為「大學生 LGBTQ+ 生活手冊」。

本冊子誕生於性少數的學長姐們希望能為學生的就業與未來生活規劃提供參考與力量。

不僅是大學生，亦歡迎教職員、家長、所有支持者閱讀。

各校區均有擺放，可自由索取。若需要多份，請洽宗教部。

Vol.2 之後的版本也公布了 PDF 版。

Vol.1 『學長姐的生活故事』(2017.7 發行)

Vol.2 『各自的婚姻樣貌 (Marriage for All People)』(2019.3 發行)

Vol.3 『每個人的心情』(2019.10 發行)

Vol.4 『僧侶們的生活故事』(2024.3 發行)

人権冊子「白色白光」



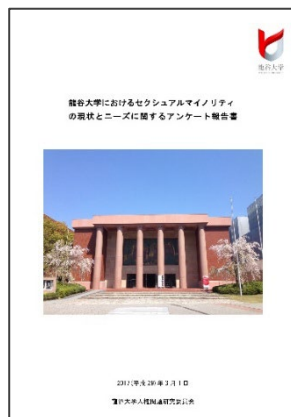
人権学習誌「白色白光（びやくしきびゃっこう）」を毎年発行しており、ジェンダーや性の多様性に関する記事も掲載しています。宗教部のホームページでPDF版を公開するほか、図書館でも閲覧できます。

<https://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/committee/print.html>



セクシュアルマイノリティの現状とニーズに関するアンケート

2016年11月9日から12月8日にかけて、学生および教職員を対象におこなったアンケートで、性的マイノリティが身近で当たり前の存在であること、大学内で、日常に嘲笑的言動が生じていることや、「話のネタ」として使われることがあり、無自覚・無理解の発言が相手を傷つけている結果が明らかとなりました。このアンケートをきっかけとして、龍谷大学の取り組みがはじまりました。



<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-7689.html>



人權冊子《白色白光》

本校每年發行人權學習刊物《白色白光（びやくしきびやっこう）》，其中也刊載與性別、性之多樣性相關的文章。PDF 版可於宗教部網站上瀏覽，圖書館亦可閱覽。

關於性少數者現狀與需求的問卷調查

本校於 2016 年 11 月 9 日至 12 月 8 日間，對學生與教職員進行調查。結果顯示，性少數者就在我們身邊，是日常的一部分；校內存在嘲笑他人的言行，以及將性少數當作「笑料」的現象，而無意識的言語也會傷害當事者。此問卷成為本校推動 SOGI 及 LGBTQ+ 相關取組的起點。

冊子・資料を展示しています

SOGI や LGBTQ+に関する冊子などを、深草キャンパスの顕真館ロビーに展示しています。気になる書籍があれば、自由に手に取って顕真館の講堂でお読みいただけます。また希望者には貸し出しもしますので、顕真館1階奥の「宗教部」で申し込んでください。展示していない冊子もありますのでお気軽にお問い合わせください。(6月のプライド月間や12月の人権週間には出張展示をすることもあります)



プライド月間

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-14880.html>



冊子・資料展示

與 SOGI、LGBTQ+ 相關的冊子，展示於深草校區顯真館大廳。
可自由取閱，也可至顯真館 1 樓深處的「宗教部」辦理借閱。
部分冊子未展示，也可隨時洽詢。
每年六月「Pride 月」、十二月「人權週」亦會舉辦外展展示。

性分化疾患(DSDs: Differences in Sex Development)

「性分化疾患」(DSDs: 「体の性の様々な発達」と呼ばれる)は、性的指向・性自認とは基本的に別の医学的な問題で、混同せずに対応することが求められます。性分化疾患は、染色体や性腺の種類、女性の膣や子宮の有無、外性器の形状・大きさなど、性に関する体の発達が先天的に非定型である状態を指します。治療が必要な場合もあり、複数の症例を包括する医療カテゴリーとして「性分化疾患」が用いられます。DSDs については、「男でも女でもない」「男女の区別がつかない」「男女の間」「両性具有」ということではなく、「女性にも様々な体がある・男性にも様々な体がある」という理解が求められます。

(日本学生支援機構:『大学等における性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進に向けて』より)

性別分化障礙 (DSDs: 性別發展差異)

「性別分化障礙」(DSDs: 「身體性別的各種發展」)基本上是與性取向和性別認同不同的醫學問題，必須在不混淆的情況下處理。性別分化障礙指的是一種與性相關的身體發育本質上不典型的狀況，例如染色體和性腺的類型、女性陰道或子宮的有無，以及外生殖器的形狀與大小。在某些情況下，需要治療，而「性別分化疾病」則被用作涵蓋多個病例的醫學分類。關於 DSD，這不是「既非男性也非女性」、「男女無法區分」、「男女介於兩者之間」或「中性」，而是「女性擁有不同的身體，男性也有不同的身體」。

(摘自日本學生服務機構:「邁向提升大學及其他機構對多元性傾向與性別認同的理解」)

教職員への対応

パートナーシップ制度

事実婚、同性婚等、事実上婚姻関係と同様の事情または状態にある相手との関係について、婚姻の届出をしたものに相当するとみなす制度があります。

【参考】パートナーシップ制度の適用により対象となる法人内の主な各種制度

扶養家族手当の支給

慶弔の取扱（祝金・見舞金の支給、婚姻・忌引休暇の取得）

福利厚生（臨時託児室利用、ベビーシッター割引券利用）

職員の旧姓、通称名使用

通称名等の使用を希望する職員は、所定の申し出をすることによって、旧姓または通称名を使用することができます。

死亡退職手当の受給者

職員が死亡で退職した場合の退職手当の受給者を、予め指定することができます。

PRIDE 指標への応募

龍谷大学は、一般社団法人「work with Pride」が実施する、LGBTQ+などのセクシュアルマイノリティへの取組みの評価指標「PRIDE 指標」に、本学の取組みの状況を確認し検証することを目的として、2018年度から継続して応募しています。

PRIDE 指標

2018年度は「ゴールド」の評価を受けましたが、2019年度以降は評価基準が厳しくなり「シルバー」や「ブロンズ」となっています。引き続き学びと改善をとおして課題を克服し、誰一人排除しない、誰一人排除されないキャンパスと社会の創造をめざします。

對教職員的支援措施

伴侶制度（パートナーシップ制度）

本校設有伴侶制度，將事實婚、同性婚等，與法律婚姻具有實質上同等關係的伴侶視為相當於已辦理婚姻登記的關係來對待。

【參考】因伴侶制度之適用而可使用的校內主要制度：

- ・扶養家屬補助
- ・慶弔相關（祝賀金、慰問金、婚喪假之取得）
- ・福利制度（臨時托兒室使用、保母券折扣）
- ・教職員舊姓・通稱名使用

教職員的舊姓、通稱名使用

希望使用舊姓或通稱名的教職員，可依規定提出申請後使用。

死亡退職金受領者

教職員若因死亡而退職，得預先指定退職金受領人。

參加 PRIDE 指標評比

龍谷大學為了檢視與確認校內對 LGBTQ+ 等性少數者相關措施的實施情況，自 2018 年度起，持續參加一般社團法人「work with Pride」所主辦的 LGBTQ+ 友善職場指標「PRIDE 指標」。



龍谷大学 SOGIE/LGBTQ+キャンパスライフガイド 第2版
2026年4月1日発行

龍谷大学宗教部（深草キャンパス顕真館1階）
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
<https://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/>
syukyobu@ad.ryukoku.ac.jp

